

6月定例会

平成20年第2回定例会は、6月12日から6月19日までの8日間で、提案された議案16件については、原案のとおり可決・承認されました。また、陳情1件については不採択となりました。

1,792万円

平成20年度 一般会計 補正予算 可決!



開会を宣言する藤石議長

歳入歳出総額 六十六億五千九百九十二万円

◇一般会計（第1回）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ一千七百九十二万四千円を追加し、歳入歳出予算の総額がそれぞれ六十六億五千九百九十二万四千円となりました。

歳出の主なものとしては、奨学資金特別会計の廃止による財政調整基金への積立金、コミュニティバス導入に関する須恵町地域公共交通活性化協議会への負担金、裁判員候補者名簿調製既存住基システムの改修委託料、重度心身障害者医療対策費・乳幼児医療対策費の制度改正による電算システム変更委託料、県の新しい事業であるふくおか学び舎創生事業費、須恵中学校白アリ駆除費、スポーツ公園弓道場の修繕費等です。

（全員賛成で可決）



◇公共サービスの安易な民間開放に反対し、国民生活の「安心・安全」の確立を求める陳情

国民生活の「安全・安心」のための、公務・公共サービスの拡充、公務関係労働者の「働くルール」の確立に向けて、左記の項目について陳情します。

記

一、「格差と貧困」拡大し、国民の安全と安心を損なう規制緩和・民営化政策をやめ、必要な規制の強化と公務・公共サービスを拡充してください。

二、公正・中立で効率的な公務サービスを提供するため、民主的公務員制度の確立に向けて、労働基本権回復をはじめ公務職場に「働くルール」を確立してください。

三、非常勤・派遣、請負など、公務関連職場に働くすべての労働者に対して、均等待遇の実

◇奨学資金特別会計

（第1回）
（全員賛成で可決）

会計	歳入・歳出	補正額	予算総額
一般会計（第1回）	歳入	17,924	6,650,924
	歳出		
奨学資金特別会計（第1回）	歳入	18	3,568
	歳出		

平成19年度補正予算 【専決処分】を承認!

◇一般会計（第6回）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ三千七百一十八千円を減額し、歳入歳出予算の総額がそれぞれ六十八億六千七百六十八万

会計	歳入・歳出	補正額	予算総額
一般会計（第6回）	歳入	37,018	6,867,680
	歳出		
国民健康保険特別会計（第4回）	歳入	△87,477	2,800,445
	歳出		
老人保健特別会計（第2回）	歳入	△87,827	2,207,329
	歳出		
公共下水道事業特別会計（第4回）	歳入	△34,230	1,106,281
	歳出		

円となりました。

今回の一般会計補正予算は、決算見込み額の精査により町税の増額が見込めること、老人保健特別会計、公共下水道事業特別会計において余剰金が予想以上に発生し、国民健康保険においては歳入不足となる等、各特別会計への繰出金を調整するもので、寄付金の増額、その他歳出の不用額を減額し、歳出において財政調整基金繰入金を四億四千万円減額するものです。

（全員賛成で可決）

◇国民健康保険特別会計

（第4回）
（全員賛成で可決）

◇老人保健特別会計

（第2回）
（全員賛成で可決）

◇公共下水道事業

特別会計（第4回）
（全員賛成で可決）

現、最低賃金の引き上げ、公契約法の制定など、安定して生活できる賃金・労働条件を保障してください。

陳情者

福岡地区労働組合総連合代表者 議長 平井和広

（賛成少数で不採択）

※公・民の公平性にそぐわないため

委員の 選任 推薦

◇固定資産評価審査

今泉豊寿氏（甲植木区・六十五歳）が町固定資産評価審査委員会委員に選任され、議会の同意を受けました。
任期は、平成二十三年六月三十日までです。

◇人権擁護委員

安河内義子氏（上須恵区・六十一歳）が人権擁護委員への再任の推薦があり、議会より答申することに決定しました。
任期は、法務大臣が委嘱した日から三年間です。



議会傍聴の様子